

新キャンパス移転に伴う学生住居に関するアンケート結果

2004年9月

**九州大学新キャンパス計画専門委員会
福利厚生施設ワーキンググループ**

目次

1. まえがき	2
2. キャンパス移転に伴う住居選択等の意識調査	3
<フェイスシート>	
1. 学年	4
2. 所属	4
3. 性別	5
4. 居住区分	5
5. 在籍身分（留学生のみ回答）	5
6. 世帯構成（留学生のみ回答）	5
<キャンパス移転に伴う、希望・計画等について>	
7. キャンパス移転に伴う引越しについて	
7-1 単純集計	6
7-2 性別とのクロス集計	6
7-3 移転グループとのクロス集計	7
7-4 学年とのクロス集計	8
8. 転居時期	
8-1 単純集計	9
8-2 性別とのクロス集計	9
8-3 移転グループとのクロス集計	10
8-4 学年とのクロス集計	11
9. 住居エリア	
9-1 単純集計	12
9-2 性別とのクロス集計	13
9-3 移転グループとのクロス集計	13
9-4 学年とのクロス集計	14
10. 交通手段	
10-1 単純集計	15
10-2 性別とのクロス集計	15
10-3 移転グループとのクロス集計	16
10-4 学年とのクロス集計	17
10-5 住居エリアとのクロス集計	18
11. 入寮希望	
11-1 単純集計	19
11-2 性別とのクロス集計	19
11-3 移転グループとのクロス集計	20
11-4 学年とのクロス集計	21
11-5 引越すする / しないとのクロス集計	22
12. 留学生	
12-1 引越し	23
12-2 転居時期	23
12-3 住居エリア	24
12-4 交通手段	24
12-5 入寮希望	25
3. アンケート用紙	26

1. まえがき

九州大学では、2005年10月の新キャンパスへの移転を控え、九州大学に在籍する学部生、大学院生を対象として、学生居住に関するアンケートやヒアリングを実施してきました。第1陣の移転を約1年後に控え、より信頼性の高いデータを得るため、今回のアンケートを実施したものです。

調査に快く協力してくれた学部生、大学院生の諸君に感謝するとともに、これらの結果が、キャンパス周辺において学生アパート等の建設や交通事業を予定している人々の参考になれば幸いです。

2004年9月
九州大学新キャンパス計画専門委員会
福利厚生施設ワーキンググループ

2. キャンパス移転に伴う住居選択等の意識調査

(1) アンケート概要

調査対象

平成16年現在、九州大学箱崎地区の工学部，工学府及びシステム情報科学府に在籍する学生を対象とした。

調査期間

平成16年6月21日～平成16年7月9日

調査方法

無記名によるアンケート調査。工学部，工学府及びシステム情報科学府の学生を対象として各学部事務部（全学教育事務室を含む）からアンケート用紙を配布し、回収した。調査・集計にあたり、関係授業担当教官及び新キャンパス計画推進室の協力を得た。

回収状況

対象者数 4,925

回収数 1,386 （回収率28.1%）

・アンケート内容

身分・所属等に関する質問。

1. 学年
2. 所属
3. 性別
4. 居住区分
5. 在籍身分（留学生のみ回答）
6. 世帯構成（留学生のみ回答）

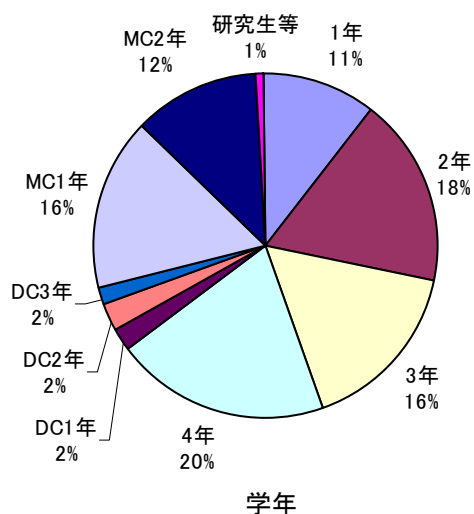
キャンパス移転に伴う、希望・計画等に関する質問。

7. キャンパス移転に伴って、現在の住居を引越しますか。
 - 7-2. 「引越する」と回答された方について、その転居時期は。
 - 7-3. 住居エリア
8. 住居から大学までの通学に際し、主として利用する交通手段
9. 学生寮（単身）への入寮希望
10. その他（自由記述欄）

<フェイスシート>

1. 学年

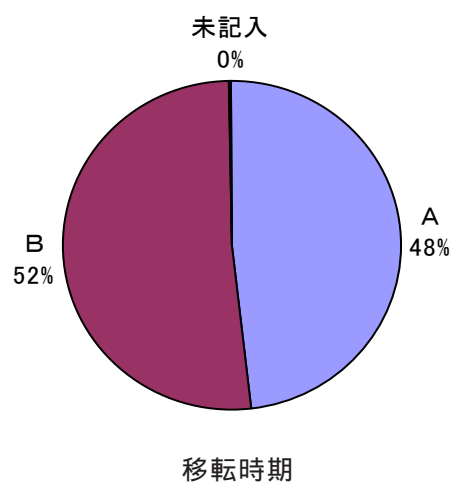
学年	
1年	149
2年	245
3年	223
4年	277
DC1年	31
DC2年	32
DC3年	25
MC1年	228
MC2年	164
研究生等	12
合計	1,386



2. 所属

平成17年10月に移転するAグループと、平成18年10月に移転するBグループの割合はそれぞれ48%、52%である。

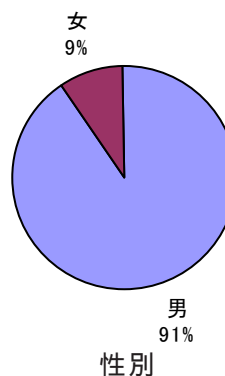
グループ	所属	
A (H17. 10移転)	物質科学工学科	233
	機械航空工学科	177
	物質創造工学専攻	72
	物質プロセス工学専攻	27
	材料物性工学専攻	42
	化学システム工学専攻	18
	機械科学専攻	28
	知能機械システム専攻	35
	航空宇宙工学専攻	33
	計	665
	B (H18. 10移転)	電気情報工学科
地球環境工学科		191
エネルギー科学科		114
建設システム工学専攻		38
都市環境システム工学専攻		47
海洋システム工学専攻		33
地球資源システム工学専攻		37
エネルギー量子工学専攻		15
情報理学専攻		40
知能システム学専攻		35
情報工学専攻		19
電気電子システム工学専攻		11
電子デバイス工学専攻		19
計		718
		未記入
	合計	1,386



3. 性別

男女別割合は男性が91%、女性が9%である。

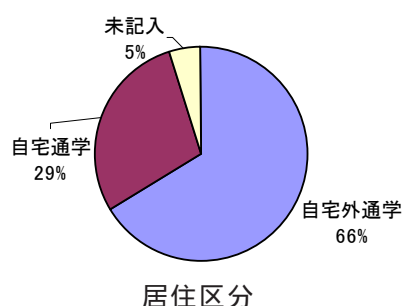
性別	
男	1,253
女	131
未記入	2
合計	1,386



4. 居住区分

居住区分の割合は、自宅外通学の学生が66%、自宅通学の学生が29%である。

住居区分	
自宅外通学	916
自宅通学	403
未記入	67
合計	1,386

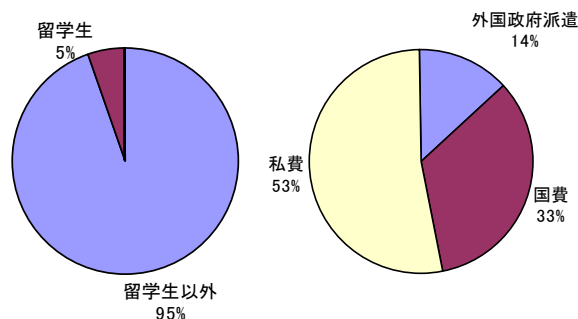


5. 留学生の在籍身分

留学生は全体の5%である。

在籍身分による内訳は、外国政府派遣による留学生が14%、国費が33%、私費が53%である。

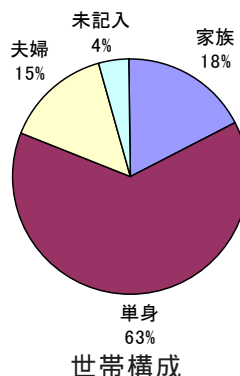
		身分	
留学生以外	1,313		
留学生	73	外国政府派遣	10
		国費	24
		私費	39
		未記入	0
合計	1,386		73



6. 留学生の世帯構成

留学生の世帯構成による内訳は家族が18%、単身が63%、夫婦が15%である。

		所帯構成	
留学生以外	1,313		
留学生	73	家族	13
		単身	46
		夫婦	11
		未記入	3
合計	1,386		73



< キャンパス移転に伴う、希望・計画等について >

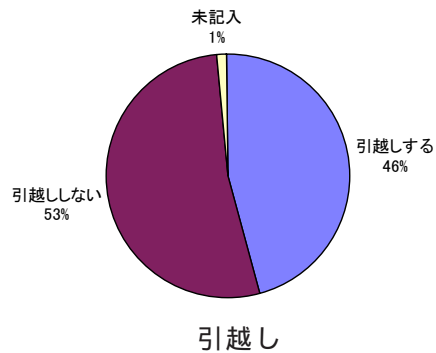
7. キャンパス移転に伴う引越しについて

- キャンパス移転に伴って、現在の住居を引越ししますか。

7-1. 単純集計

全体ではキャンパス移転に伴い、引越しを予定している学生が46%、予定していない学生が53%である。

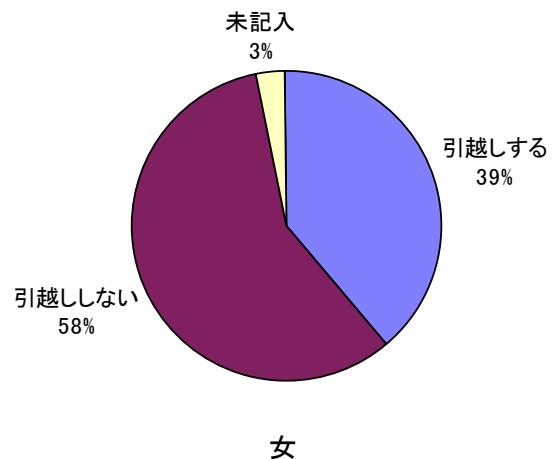
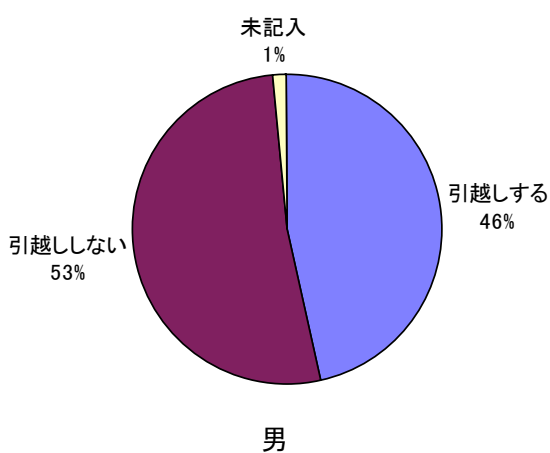
引越しする	633
引越ししない	733
未記入	20
合計	1,386



7-2. 性別とのクロス集計

男女別で見ると、女性は引越しを予定している学生の割合が39%、予定していない学生の割合が58%であり、単純集計及び男性と比べて引越しを予定していない学生の割合が少し多い。

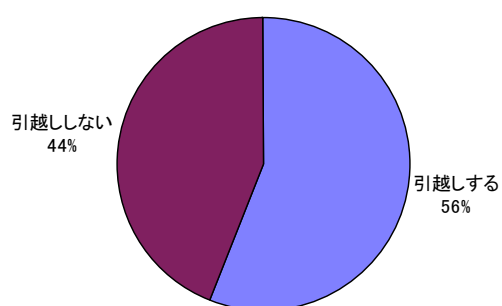
性別	引越しする	引越ししない	未記入	合計
男	581	656	16	1,253
女	51	76	4	131
未記入	1	1	0	2
合計	633	733	20	1,386



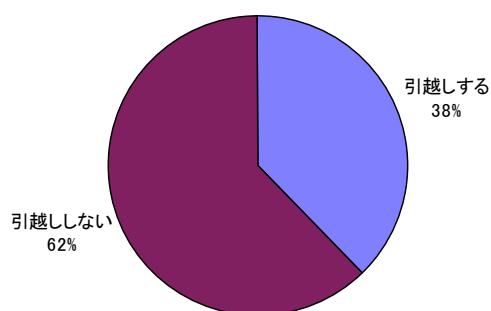
7-3. 移転グループとのクロス集計

平成 17 年 10 月に移転する A グループでは引越しを予定している学生が 56% であるのに対し、平成 18 年 10 月に移転する B グループでは引越しを予定する学生は 38%、引越しをしない学生が 62% となっている。

グループ	引越すする	引越さない	未記入	合計
第Ⅰ期 (H17.10移転)	366	289	10	665
第Ⅱ期 (H18.10移転)	267	441	10	718
未記入	3	0	0	3
合計	636	730	20	1,386



Aグループ

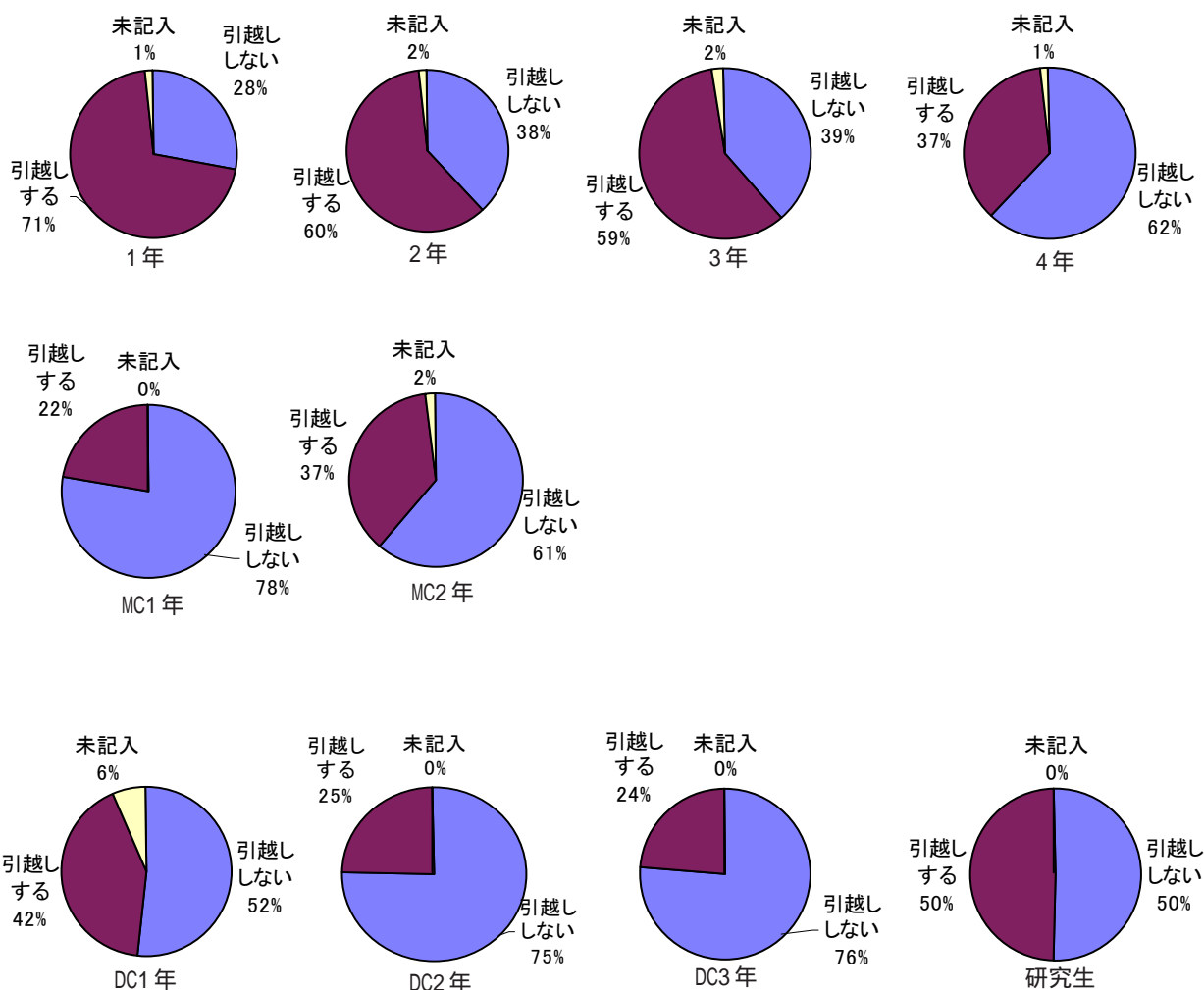


Bグループ

7-4 学年とのクロス集計

学年が上がるにつれて引越しを予定している学生が減少する傾向にある。最も引越しを予定している学生が多いのは1年生の71%であり、逆にMC1年やDC2年、DC3年では70%を超える学生が引越しを予定していない。

学年	引越す	引越さない	未記入	合計
1年	105	42	2	149
2年	148	93	4	245
3年	132	86	5	223
4年	103	170	4	277
DC1年	13	16	2	31
DC2年	8	24	0	32
DC3年	6	19	0	25
MC1年	51	177	0	228
MC2年	61	100	3	164
研究生等	6	6	0	12
合計	633	733	20	1,386



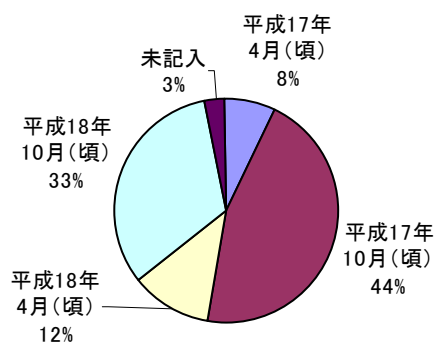
8. 転居時期

「引越しする」と回答した方について、その転居時期はいつですか。

8-1. 単純集計

引越しを予定している学生のうち、44%は平成17年10月頃に、33%が平成18年10月頃に転居の予定である。

転居時期	
平成17年 4月(頃)	48
平成17年10月(頃)	282
平成18年 4月(頃)	74
平成18年10月(頃)	212
未記入	17
合計	633

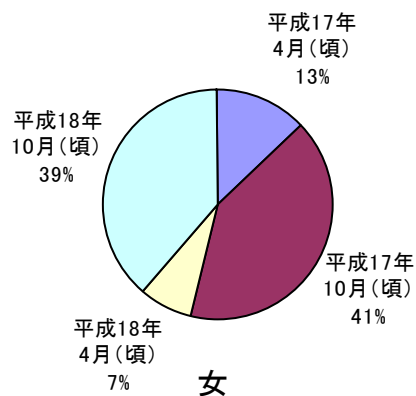
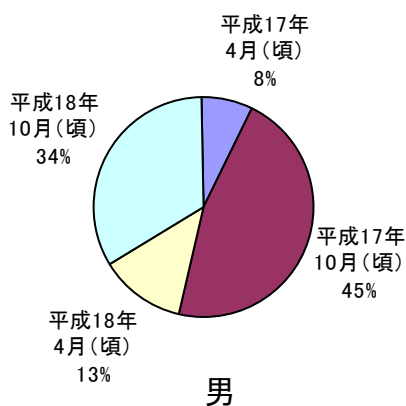


転居時期

8-2. 性別とのクロス集計

男性に比べて女性のほうが平成17年度4月頃に転居を予定している学生の割合が若干多いが、特に大きな違いは見られない。

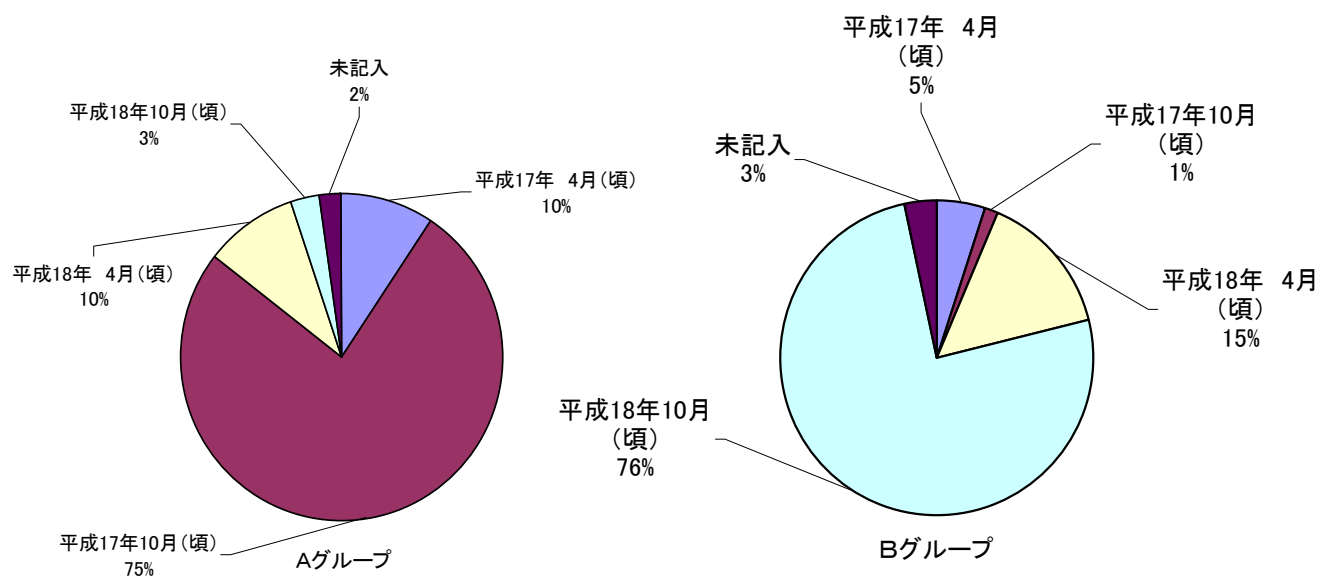
性別	平成17年 4月(頃)	平成17年10月(頃)	平成18年 4月(頃)	平成18年10月(頃)	未記入	合計
男	41	260	71	192	17	581
女	7	21	3	20	0	51
未記入	0	1	0	0	0	1
合計	48	282	74	212	17	633



8-3. 移転グループとのクロス集計

A , B どちらのグループも、移転時期に合わせて引越しを考えている学生の割合が約 75 % である。

グループ	平成17年 4月(頃)	平成17年10月(頃)	平成18年 4月(頃)	平成18年10月(頃)	未記入	合計
A (平成17.10移転)	35	278	35	10	8	366
B (平成18.10移転)	13	4	39	202	9	267
合計	48	282	74	212	17	633

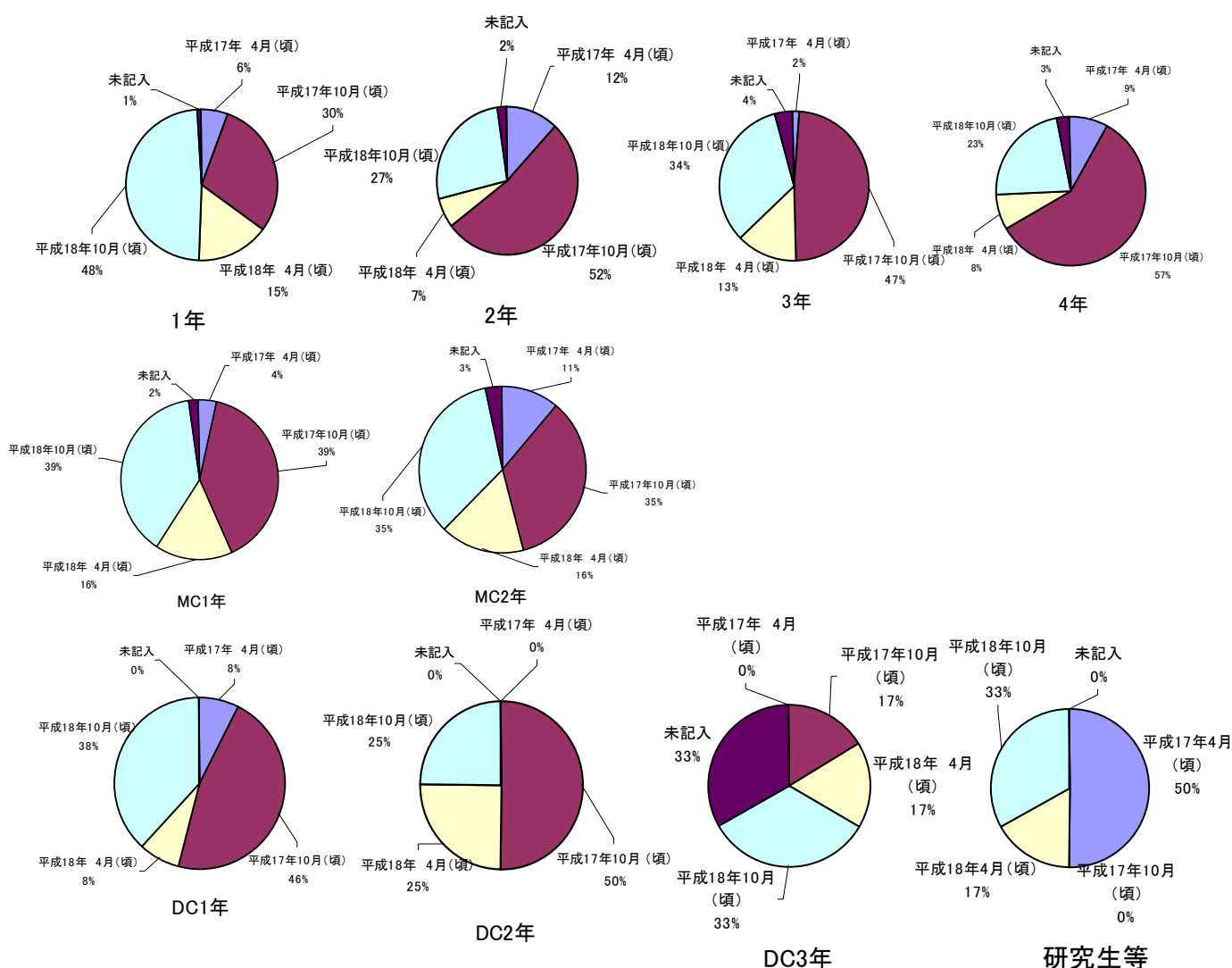


8-4 学年とのクロス集計

どの学年においても、移転時期である平成17年10月と平成18年10月に転居を予定している学生の割合が高い。

●@

学年	平成17年 4月(頃)	平成17年10月(頃)	平成18年 4月(頃)	平成18年10月(頃)	未記入	計
1年	6	31	16	51	1	105
2年	18	77	10	40	3	148
3年	2	63	17	45	5	132
4年	9	59	8	24	3	103
DC1年	1	6	1	5		13
DC2年		4	2	2		8
DC3年		1	1	2	2	6
MC1年	2	20	8	20	1	51
MC2年	7	21	10	21	2	61
研究生等	3		1	2		6
合計	48	282	74	212	17	633



9. 住居エリア

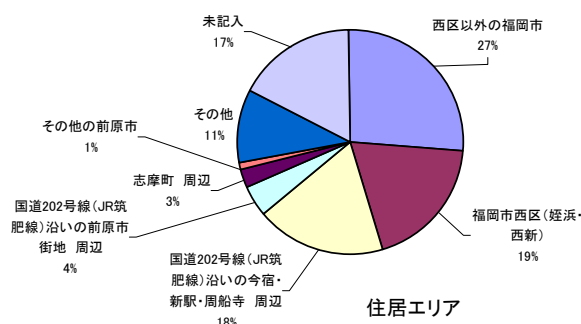
- 住居エリアとしてはどこを選択しますか。

9-1. 単純集計

(1) 引っ越ししない者を入れた場合

西区以外の福岡市への居住を予定している者が最も多く、全体の27%を占めている。

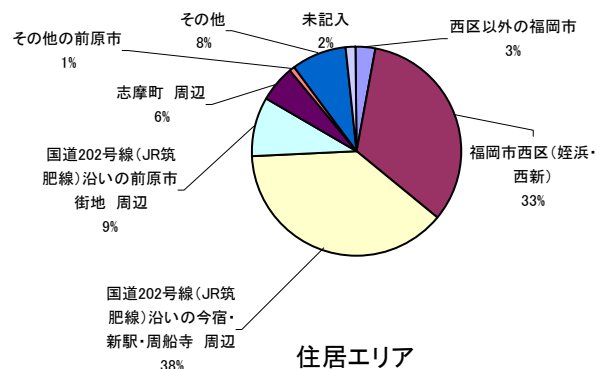
住居エリア	合計	未記入者を含む 場合の比率	未記入者を除いた 場合の比率
西区以外の福岡市	366	26.4%	32.0%
福岡市西区(姪浜・西新)	262	18.9%	22.9%
国道202号線(JR筑肥線)沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺	254	18.3%	22.2%
国道202号線(JR筑肥線)沿いの前原市街地 周辺	61	4.4%	5.3%
志摩町 周辺	39	2.8%	3.4%
その他の前原市	12	0.9%	1.0%
その他	151	10.9%	13.2%
未記入	241	17.4%	-
合計	1386	100%	100%



(2) 引っ越ししない者を除いた場合

国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺への居住を予定している者が最も多く、全体の38%を占めている。

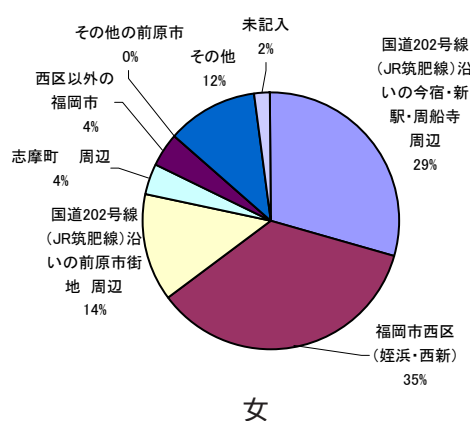
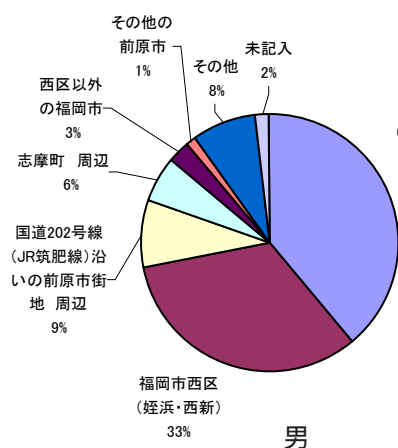
住居エリア	合計	未記入者を含む 場合の比率	未記入者を除いた 場合の比率
西区以外の福岡市	19	3.0%	3.1%
福岡市西区(姪浜・西新)	209	33.0%	33.6%
国道202号線(JR筑肥線)沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺	242	38.2%	38.9%
国道202号線(JR筑肥線)沿いの前原市街地 周辺	57	9.0%	9.2%
志摩町 周辺	35	5.5%	5.6%
その他の前原市	8	1.3%	1.3%
その他	52	8.2%	8.4%
未記入	11	1.7%	-
合計	633	100.0%	100.0%



9-2. 性別とのクロス集計

男子は「国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺」を選んだ者が最も多いが、女子は「福岡市西区（姪浜・西新）」を選んだ者が最も多い。

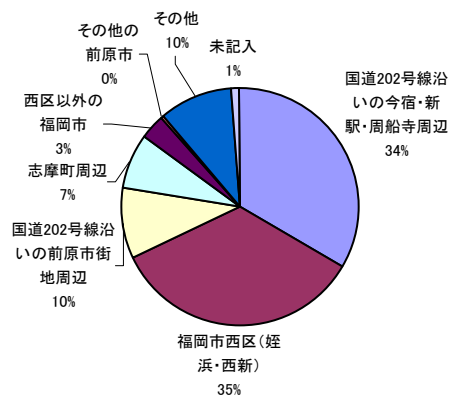
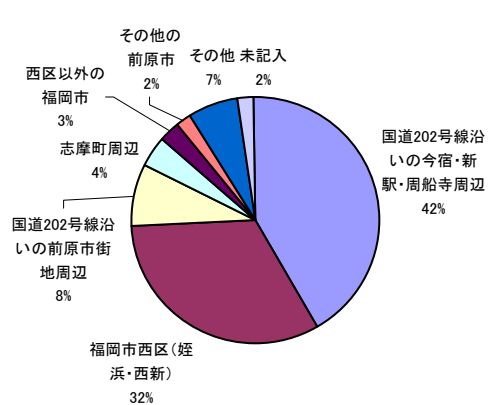
	国道202号線(JR筑肥線)沿いの今宿・新駅・周船寺周辺	福岡市西区(姪浜・西新)	国道202号線(JR筑肥線)沿いの前原市街地周辺	志摩町周辺	西区以外の福岡市	その他の前原市	その他	未記入	合計
男	226	191	50	33	17	8	46	10	581
女	15	18	7	2	2	0	6	1	51
未記入	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	242	209	57	35	19	8	52	11	633



9-3. 移転グループとのクロス集計

移転時期の早いAグループは、新キャンパス周辺の今宿・新駅・周船寺周辺を選んだ者の割合が高く、Bグループは、福岡市西区を選んだ者の割合が高い。

	国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺	福岡市西区(姪浜・西新)	国道202号線沿いの前原市街地周辺	志摩町周辺	西区以外の福岡市	その他の前原市	その他	未記入	合計
Aグループ	153	117	31	15	10	7	25	8	366
Bグループ	89	92	26	20	9	1	27	3	267
合計	242	209	57	35	19	8	52	11	633



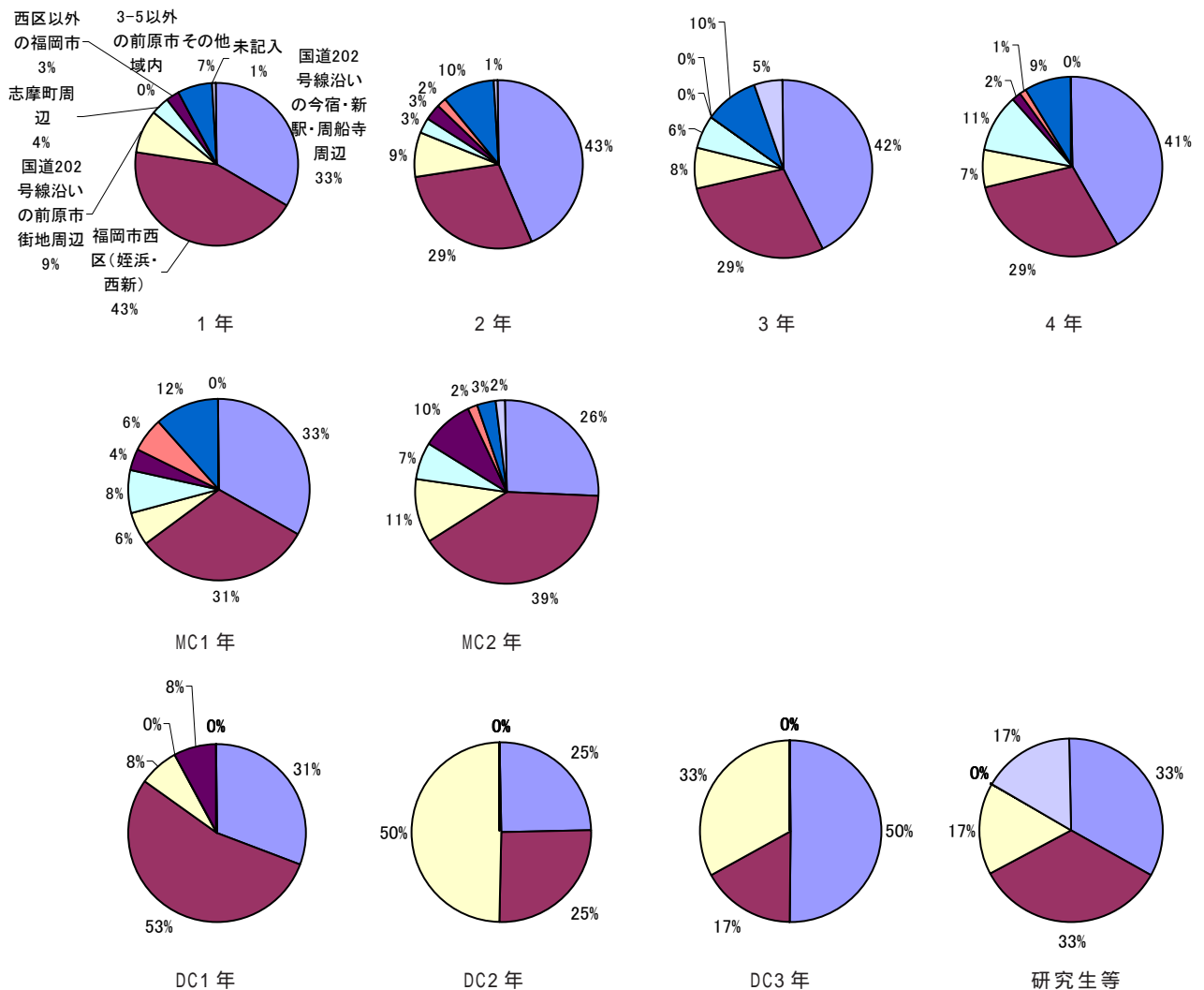
A グループ

B グループ

9-4. 学年とのクロス集計

「国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺」を選んだ者が最も多い学年がほとんどだが、学部一年・修士二年・博士一年では「福岡市西区」、博士二年では「国道202号線沿いの前原市街地周辺」を選んだ者が最も多い。

	国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺	福岡市西区(姪浜・西新)	国道202号線沿いの前原市街地周辺	志摩町周辺	西区以外の福岡市	その他の前原市	その他	未記入	合計
1年	35	46	9	4	3	0	7	1	105
2年	64	43	13	4	5	3	15	1	148
3年	56	38	10	8	0	0	13	7	132
4年	43	30	7	11	2	1	9	0	103
MC1年	17	16	3	4	2	3	6	0	51
MC2年	16	24	7	4	6	1	2	1	61
DC1年	4	7	1	0	1	0	0	0	13
DC2年	2	2	4	0	0	0	0	0	8
DC3年	3	1	2	0	0	0	0	0	6
研究生等	2	2	1	0	0	0	0	1	6
合計	242	209	57	35	19	8	52	11	633



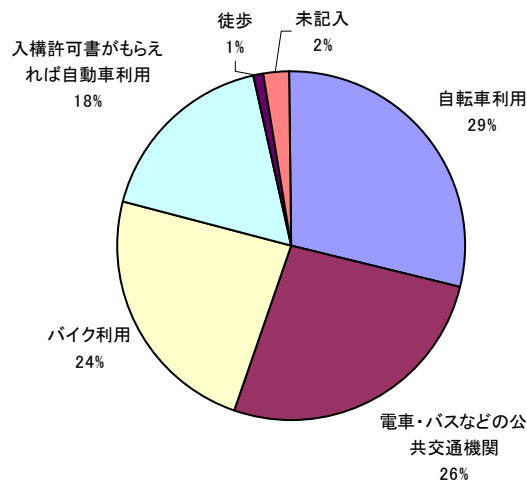
10. 交通手段

- 住居から大学までの通学に際し、主として利用する交通手段は。

10-1. 単純集計

自転車利用希望者が全体の29%を占めている。

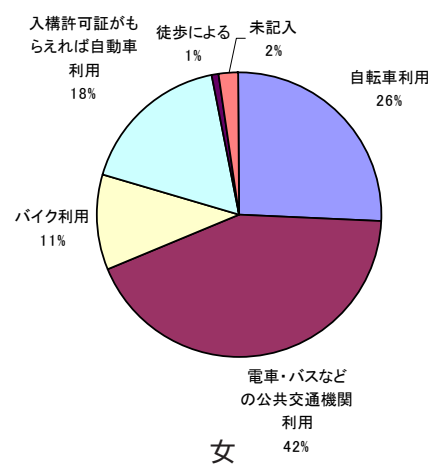
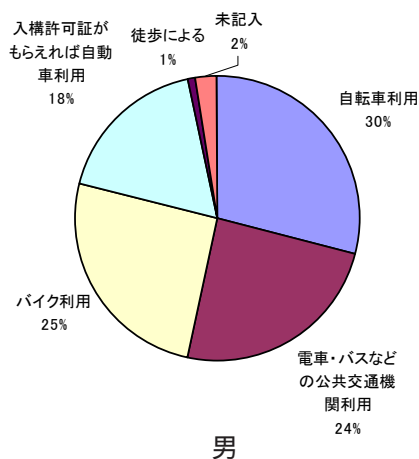
交通手段	合計
自転車利用	400
電車・バスなどの公共交通機関	361
バイク利用	333
入構許可書がもらえれば自動車利用	245
徒歩	14
未記入	33
合計	1386



10-2. 性別とのクロス集計

女子は公共交通機関利用希望者が42%を占めている。

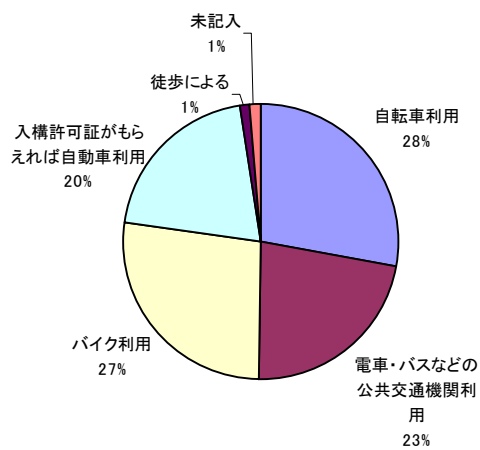
	自転車利用	電車・バスなどの公共交通機関利用	バイク利用	入構許可証がもらえれば自動車利用	徒歩による	未記入	合計
男	364	305	319	222	13	30	1253
女	34	56	14	23	1	3	131
未記入	2	0	0	0	0	0	2
合計	400	361	333	245	14	33	1386



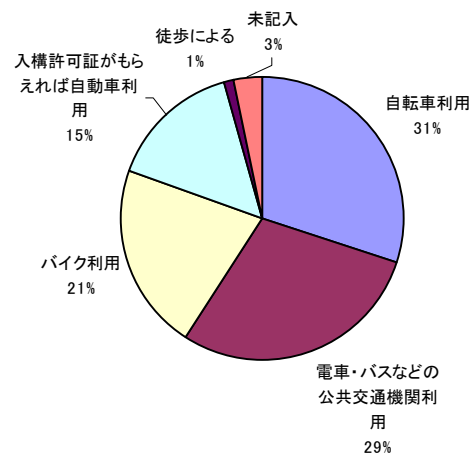
10-3. 移転グループとのクロス集計

移転時期の早いAグループの方が、バイク・自動車利用希望者の割合がやや高く、Bグループでは自転車・公共交通機関利用希望者の割合がやや高い。両グループ間にそれほど大きな差はみられない。

	自転車利用	電車・バスなどの公共交通機関利用	バイク利用	入構許可証がもらえれば自動車利用	徒歩による	未記入	合計
Aグループ	184	151	179	135	7	9	665
Bグループ	216	208	154	109	7	24	718
未記入		2		1			3
合計	400	361	333	245	14	33	1386



Aグループ



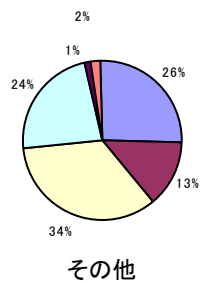
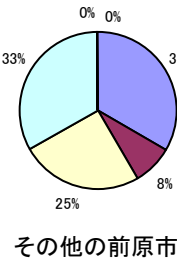
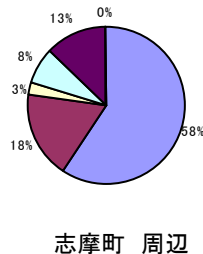
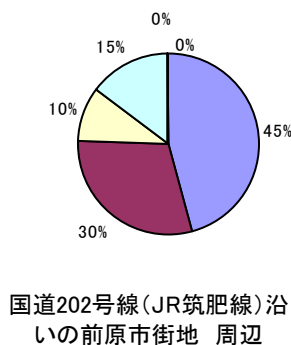
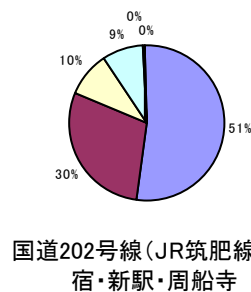
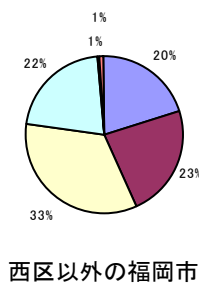
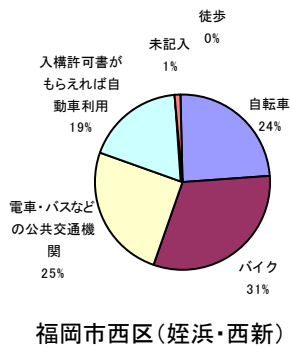
Bグループ

10-4. 学年とのクロス集計

住居エリアとして、「国道202号線沿い（JR筑肥線）沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺」や「国道202号線（JR筑肥線）沿いの前原市街地 周辺」、「志摩町 周辺」を選んだ者は、自転車利用を選ぶ割合が高い。

「福岡市西区」「西区以外の福岡市」「その他の前原市」を選んだ者は、公共交通機関利用を選ぶ割合がやや高い。

住居エリア	自転車	バイク	電車・バスなどの公共交通機関	入構許可書がもらえれば自	徒歩	未記入	合計
福岡市西区(姪浜・西新)	63	81	66	49		3	262
西区以外の福岡市	74	84	124	79	2	3	366
国道202号線(JR筑肥線)沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺	131	75	25	22	1		254
国道202号線(JR筑肥線)沿いの前原市街地 周辺	28	18	6	9			61
志摩町 周辺	23	7	1	3	5		39
その他の前原市	4	1	3	4			12
その他	39	20	51	36	2	3	151
未記入	38	47	85	43	4	24	241
合計	400	333	361	245	14	33	1386

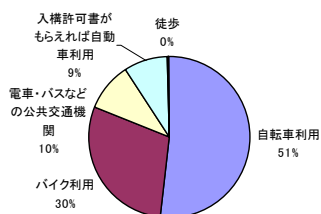


10-5. 住居エリアとのクロス集計

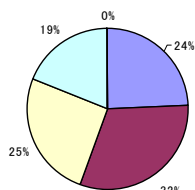
住居エリアとして、「国道202号線沿い（JR筑肥線）沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺」や「国道202号線（JR筑肥線）沿いの前原市街地 周辺」、「志摩町 周辺」を選んだ者は、自転車利用を選ぶ割合が高い。

「福岡市西区」「西区以外の福岡市」「その他の前原市」を選んだ者は、公共交通機関利用を選ぶ割合がやや高い。

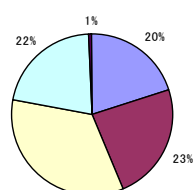
	自転車	バイク	電車・バスなどの公共交通機関	入構許可証がもらえれば自動車利用	徒歩	未記入	合計
福岡市西区(姪浜・西新)	63	81	66	49	0	1	260
西区以外の福岡市	74	84	124	79	2	1	364
国道202号線沿いの今宿・新駅・周船寺周辺	131	75	25	22	1	0	254
国道202号線沿いの前原市街地周辺	28	18	6	9		0	61
志摩町周辺	23	7	1	3	5	0	39
3-5以外の前原市域内	4	1	3	4		0	12
その他	39	20	51	36	2	0	148
未記入	38	75	57	43	4	31	248
合計	400	361	333	245	14	33	1386



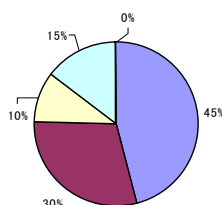
国道202号線（JR筑肥線）沿いの今宿・新駅・周船寺 周辺



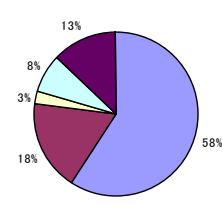
福岡市西区（姪浜・西新）



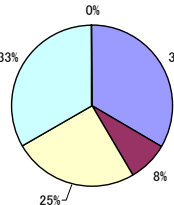
西区以外の福岡市



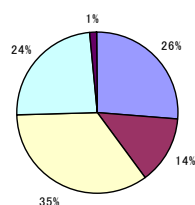
国道202号線（JR筑肥線）沿いの前原市街地 周辺



志摩町 周辺



その他の前原市



その他

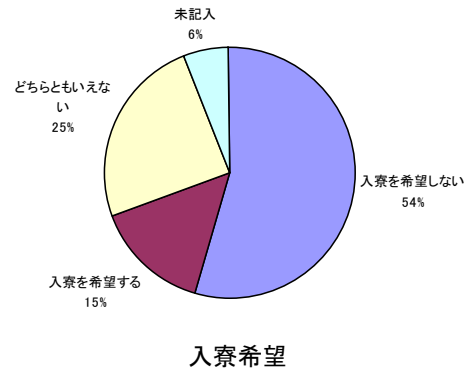
11. 入寮希望

- 学生寮（単身）への入寮希望は。

11-1. 単純集計

入寮を希望しない者が54%、入寮を希望する者が15%である。

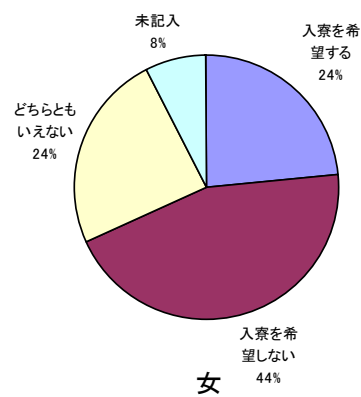
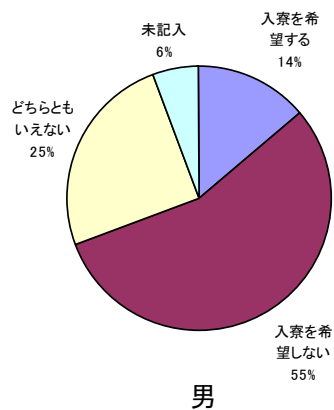
入寮希望	合計
入寮を希望しない	750
入寮を希望する	207
どちらともいえない	349
未記入	80
合計	1386



11-2. 性別とのクロス集計

男子よりも女子の方が、入寮を希望する者の割合が高い。

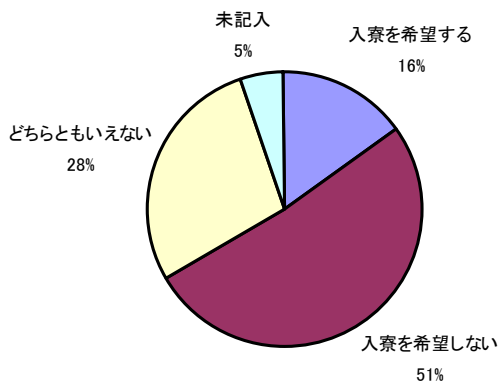
	入寮を希望する	入寮を希望しない	どちらともいえない	未記入	合計
男	175	691	317	70	1253
女	31	58	32	10	131
未記入	1	1	0	0	2
合計	207	750	349	80	1386



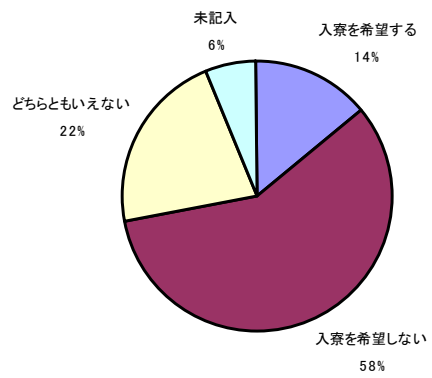
11-3. 移転グループとのクロス集計

Bグループの方が、入寮を希望しない者の割合がやや高い。

	入寮を希望する	入寮を希望しない	どちらともいえない	未記入	合計
Aグループ	104	337	188	36	665
Bグループ	103	411	160	44	718
未記入	0	2	1	0	3
合計	207	750	349	80	1386



A グループ

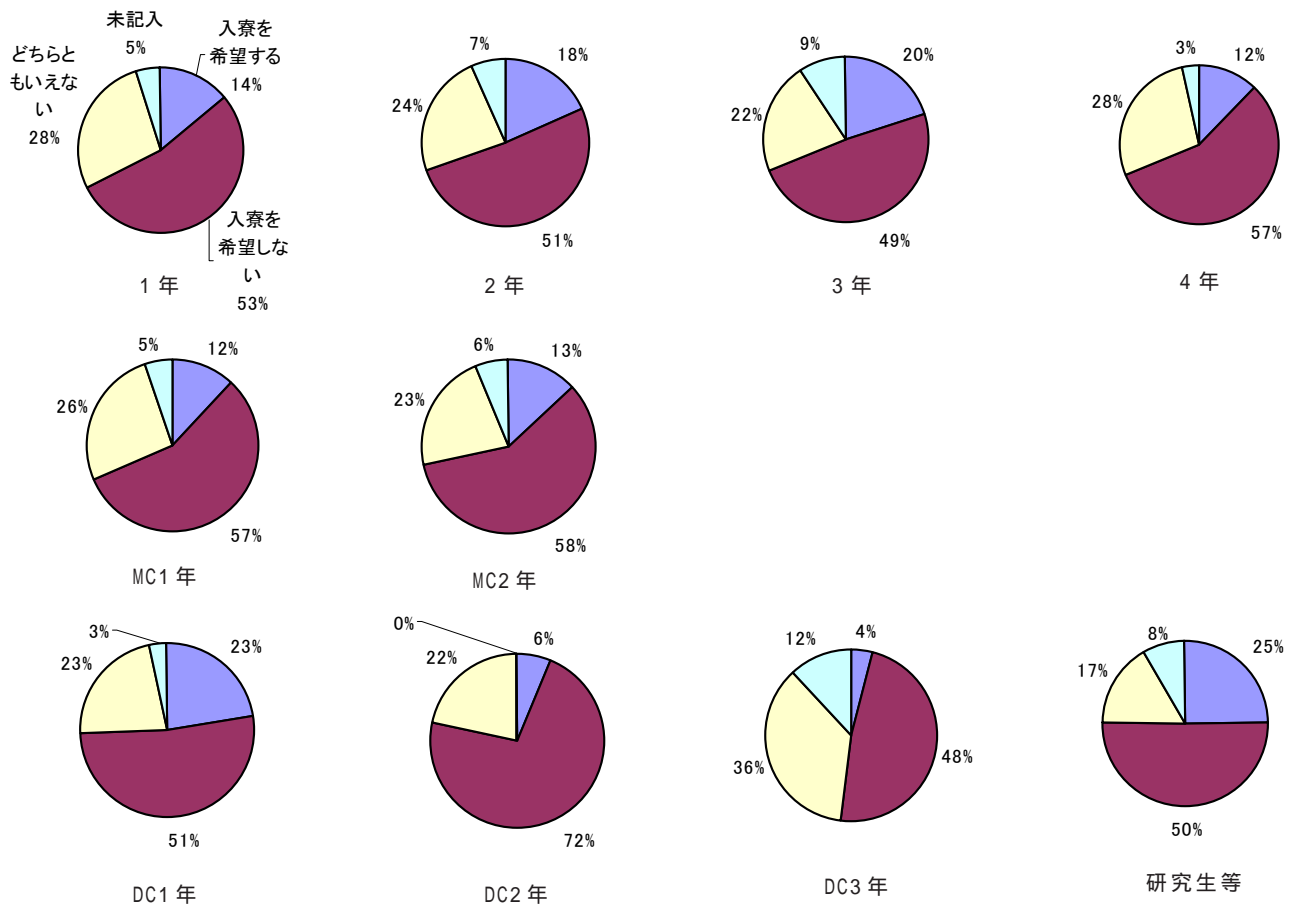


B グループ

11-4. 学年とのクロス集計

入寮を希望する者の割合が学部生でやや高い。

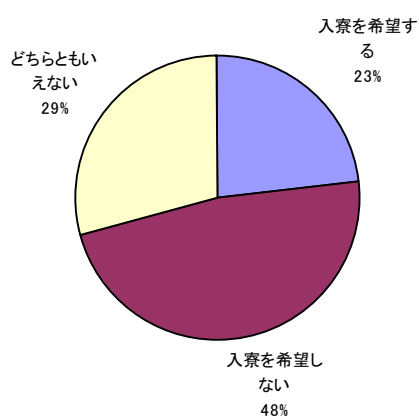
	入寮を希望する	入寮を希望しない	どちらともいえない	未記入	合計
1年	21	79	42	7	149
2年	45	125	59	16	245
3年	45	108	49	21	223
4年	34	157	77	9	277
MC1年	27	129	60	12	228
MC2年	22	95	37	10	164
DC1年	7	16	7	1	31
DC2年	2	23	7	0	32
DC3年	1	12	9	3	25
研究生等	3	6	2	1	12
合計	207	750	349	80	1386



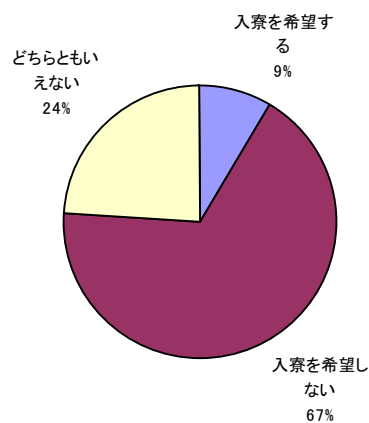
11-5. 引越しする / しないとのクロス集計

移転に伴って「引越しする」と答えた者のうち、23%が入寮を希望している。

	入寮を希望する	入寮を希望しない	どちらともいえない	未記入	合計
引越しする	143	290	181	19	633
引越ししない	59	456	165	53	733
未記入	5	4	3	8	20
合計	207	750	349	80	1386



引越しする



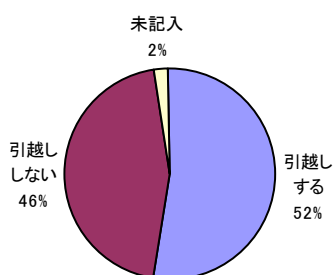
引越ししない

12. 留学生

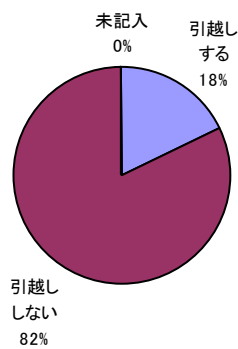
12-1. 引越し

単身では、引越しすると答えた者が52%であるが、夫婦・家族では引越ししないと答えた者の方が多い。

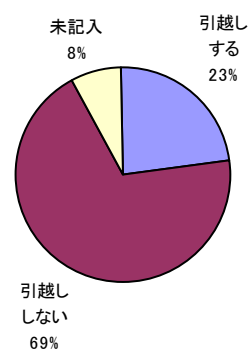
	引越しする	引越ししない	未記入	合計
単身	24	21	1	46
夫婦	2	9	0	11
家族	3	9	1	13
未記入	1	2	0	3
合計	30	41	2	73



単身



夫婦

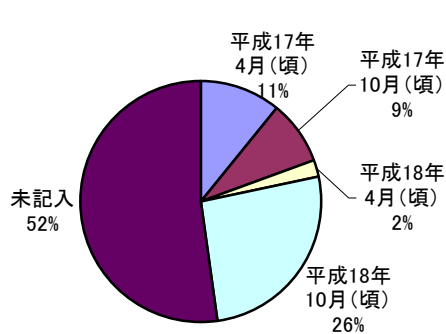


家族

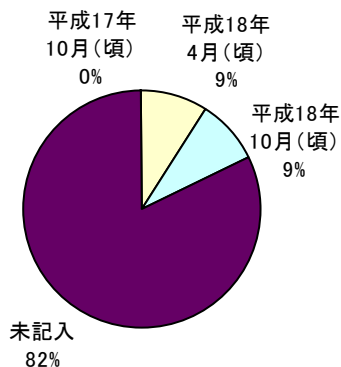
12-2. 転居時期

単身では、平成18年10月以降の転居を予定している者が半数以上を占めている。

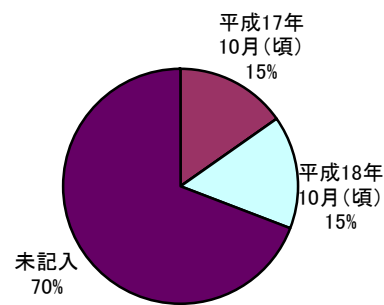
世帯構成	平成17年4月(頃)	平成17年10月(頃)	平成18年4月(頃)	平成18年10月(頃)	未記入	合計
単身	5	4	1	12	24	46
夫婦	0	0	1	1	9	11
家族	0	2	0	2	9	13
未記入	0	0	0	1	2	3
合計	5	6	2	16	44	73



単身



夫婦

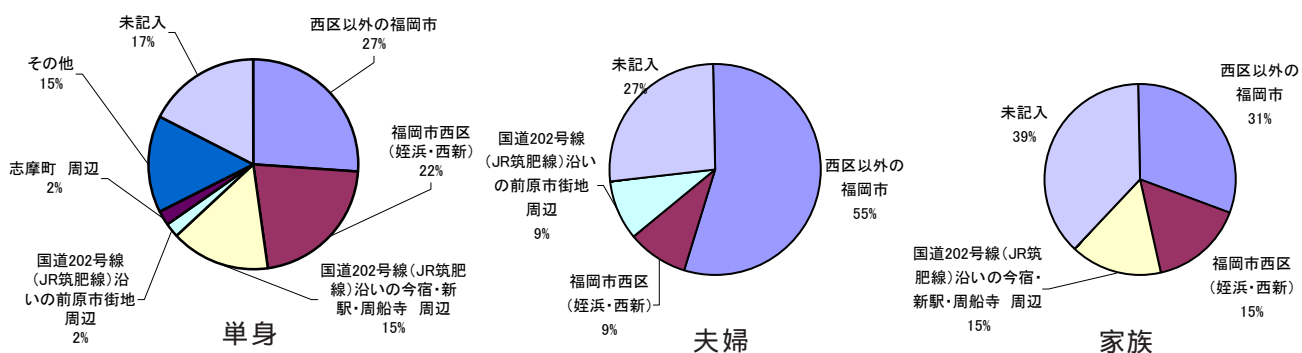


家族

12-3. 住居エリア

単身・家族・夫婦ともに西区以外の福岡市を選ぶ割合が最も高い。

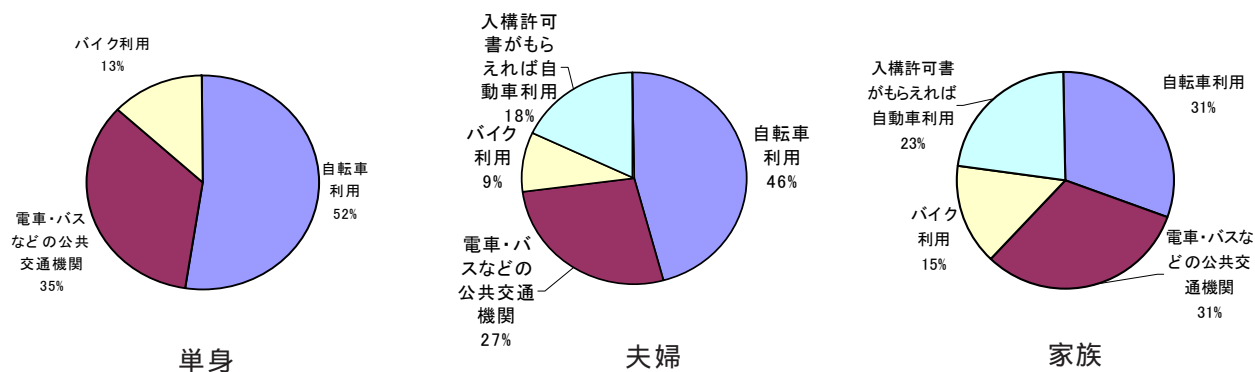
	西区以外の福岡市	福岡市西区(姪浜・西新)	国道202号線(JR筑肥線)沿いの今宿・新駅・周船寺周辺	国道202号線(JR筑肥線)沿いの前原市街地周辺	志摩町周辺	その他の前原市	その他	未記入	合計
単身	12	10	7	1	1	0	7	8	46
夫婦	6	1	0	1	0	0	0	3	11
家族	4	2	2	0	0	0	0	5	13
未記入	1	2	0	0	0	0	0	0	3
合計	23	15	9	2	1	0	7	16	73



12-4. 交通手段

単身・夫婦・家族ともに、「自転車利用」を選ぶ割合が最も高い。

	自転車利用	電車・バスなどの公共交通機関	バイク利用	入構許可書がもらえれば自動車利用	徒歩	合計
単身	24	16	6	0	0	46
夫婦	5	3	1	2	0	11
家族	4	4	2	3	0	13
未記入	2	0	1	0	0	3
合計	35	23	10	5	0	73



12-5. 入寮希望

夫婦や家族では入寮を希望しない者が多いのに対して、単身の学生では、入寮を希望する者が61%である。

	入寮を希望する	入寮を希望しない	どちらともいえない	未記入	合計
単身	28	8	9	1	46
夫婦	2	8	0	1	11
家族	1	7	5	0	13
未記入	1	2	0	0	3
合計	32	25	14	2	73

